

- 問1 2008年の世界金融危機（リーマン・ショック）が日本経済に与えた影響を説明したものとして、背景や因果関係が正しいものはどれですか。
（2017年 東京都公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. アメリカからの投資資金が日本国内へ大量に流入したため、株価が上昇し製造業が活発化した。 | 2. 急激な円高の進行や世界的な需要の減少により、輸出産業が打撃を受けて景気が後退した。 | 3. 東日本大震災の復興需要によって経済成長率が下支えされ、失業率は低下傾向に転じた。 | 4. 円安が急速に進んだことで輸出企業の利益が増大したが、輸入コストの増大でデフレが進行した。 |
|--|--|---|---|
- 問2 資金の調達方法について、証券市場を通じて投資家から直接資金を集める「直接金融」と比較した際の、「間接金融」の特徴として正しい説明はどれですか。
（2026年 北海道公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|-------------------------------------|
| 1. 銀行などの金融機関が、預金者から預けられた資金を元手にして企業に貸し出しを行う。 | 2. 家計が直接、特定の企業の事業内容を判断して、市場で社債を購入して資金を提供する。 | 3. 企業が株式を発行し、家計がその株式を直接購入することで資金を融通する。 | 4. 日本銀行が政府の銀行として、国の予算を民間の企業に直接配分する。 |
|---|---|--|-------------------------------------|
- 問3 日本の中央銀行である日本銀行は、民間の金融機関には認められていない特別な役割を3つ持っています。そのうち、日本の紙幣である日本銀行券を独占的に発行できる唯一の銀行としての役割を何といいますか。
（2025年 岐阜県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|---------|----------|---------|
| 1. 銀行の銀行 | 2. 発券銀行 | 3. 政府の銀行 | 4. 市中銀行 |
|----------|---------|----------|---------|
- 問4 キャッシュレス決済の仕組みと通貨の性質について述べた次の文のうち、最も適切なものはどれか。
（2025年 青森県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. クレジットカード決済などは、銀行にある預金を通貨のように機能させて支払いを行っている。 | 2. キャッシュレス決済が普及すると、通貨の持つ「交換手段」としての機能は失われることになる。 | 3. 銀行の預金は、利子を得るための貯蓄手段であり、支払い手段としての通貨の性質は持たない。 | 4. キャッシュレス決済で使われる電子データは、日本銀行が発行する現金通貨と同じ法的強制力を持つ。 |
|--|---|--|---|
- 問5 日本銀行の業務に関する説明として、民間の銀行（普通銀行）の業務とは異なる、中央銀行としての正しい役割はどれですか。
（2020年 神奈川県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------------------------------|--------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 個人の預金者に対して、預けられた金額に応じた利息を支払う。 | 2. 企業間の不当な価格操作が行われないう、市場を監視する。 | 3. 企業の将来性を審査し、新しい事業を始めるための資金を直接融資する。 | 4. 一般の銀行を対象として、資金の貸し出しや預金の受け入れを行う。 |
|----------------------------------|--------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|
- 問6 不況の際、日本銀行が市場の通貨量を調整するために行う「買いオペレーション」の説明として、最も適切なものを選びなさい。
（2023年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------------|---------------------------------|---|----------------------------|
| 1. 日本銀行が一般の銀行に国債などを売却し、世の中に出回る通貨量を減らす | 2. 政府が公共事業への支出を増やし、社会全体の景気を刺激する | 3. 日本銀行が一般の銀行から国債などを買い取り、世の中に出回る通貨量を増やす | 4. 政府が所得税の増税を行い、景気の過熱を抑制する |
|---------------------------------------|---------------------------------|---|----------------------------|
- 問7 景気が後退している状況において、日本銀行が買いオペレーションを実施した場合、市場の利率（金利）と企業の経済活動にはどのような変化が起きると期待されますか。その因果関係を説明したものとして適切なものを選びなさい。
（2023年 神奈川県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 市場の通貨量が増えることで利率が上がり、企業は将来のインフレに備えて生産を縮小する | 2. 市場の通貨量が増えることで利率が下がり、企業は資金を借りやすくなって設備投資を増やす | 3. 市場の通貨量が減ることで利率が上がり、企業の借金が減るため経営状態が改善する | 4. 市場の通貨量が減ることで利率が下がり、デフレが解消されて企業の売上が増加する |
|--|---|---|---|
- 問8 家計や企業の間で資金を融通し合う金融の仕組みにおいて、銀行などの金融機関が、預金者から集めた資金を企業などの借り手に貸し出す方法を何と呼びますか。
（2025年 愛媛県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|----------------|---------|---------|
| 1. 直接金融 | 2. クラウドファンディング | 3. 間接金融 | 4. 株式投資 |
|---------|----------------|---------|---------|
- 問9 日本の中央銀行である日本銀行は、一般的な銀行とは異なる3つの重要な役割を持っています。そのうち、国が徴収した税金を預かったり、道路建設などの公共事業費の支払いを行ったりするように、政府のお金の出し入れを管理する役割を何と呼びますか。
（2024年 宮城県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|----------|----------|---------|
| 1. 市中銀行 | 2. 政府の銀行 | 3. 銀行の銀行 | 4. 発券銀行 |
|---------|----------|----------|---------|
- 問10 不景気の際に日本銀行が行う金融政策である「買いオペレーション」において、日本銀行が民間銀行に対して行う直接的な行動と、それによって市場に流通する通貨量に与える影響の組み合わせとして正しいものはどれですか。
（2024年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------|---------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 1. 民間銀行に国債を売却し、市場の通貨量を減らす | 2. 民間銀行に国債を売却し、市場の通貨量を増やす | 3. 民間銀行から国債を買い取り、市場の通貨量を減らす | 4. 民間銀行から国債を買い取り、市場の通貨量を増やす |
|---------------------------|---------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
- 問11 「お金に余裕がある人」が銀行へ預金し、銀行が「お金を必要としている企業」へ貸し付けを行う経済活動において、利子の関係について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。
（2022年 高知県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--------------------------------------|
| 1. 景気を刺激するために、銀行は預金利子を貸出利子よりも高く設定するのが一般的である。 | 2. 預金利子と貸出利子は法律によって同額に定められており、銀行は手数料のみで利益を得る。 | 3. 借り手が銀行に支払う貸出利子は、銀行が預金者に支払う預金利子よりも常に低く抑えられている。 | 4. 銀行の利益を確保するため、貸出利子は預金利子よりも高く設定される。 |
|--|---|--|--------------------------------------|
- 問12 景気が過熱して物価が上がりすぎている局面において、日本銀行が景気を安定させるために行う「公開市場操作」の説明として適切なものはどれですか。
（2018年 大分県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 日本銀行が一般の銀行から国債を買い、市場の通貨量を減少させる | 2. 日本銀行が一般の銀行に国債を売り、市場の通貨量を増加させる | 3. 日本銀行が一般の銀行に国債を売り、市場の通貨量を減少させる | 4. 日本銀行が一般の銀行から国債を買い、市場の通貨量を増加させる |
|-----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|
- 問13 物価が継続的に下落するデフレーションが発生し、景気が後退している状況において、日本銀行が行う「公開市場操作（買いオペレーション）」の仕組みと目的として、最も適切な説明はどれですか。
（2017年 茨城県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 日本銀行が市中銀行へ有価証券を売却し、市場の通貨量を増やすことで、消費者の購買意欲を高めて物価を安定させる。 | 2. 日本銀行が市中銀行から有価証券を買い入れ、市場の通貨量を減らすことで、企業の過剰な設備投資を抑制する。 | 3. 日本銀行が市中銀行から有価証券を買い入れ、市場の通貨量を増やすことで、経済活動の活性化を図る。 | 4. 日本銀行が市中銀行へ有価証券を売却し、市場の通貨量を減らすことで、物価の過度な上昇を抑える。 |
|---|--|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 急激な円高の進行や世界的な需要の減少により、輸出産業が打撃を受けて景気が後退した。	世界金融危機の発生後、投資家が比較的安全とされる円を買ったことで急激な円高が進行しました。これに加え、主要な輸出先である欧米の景気が冷え込んだため、日本の自動車や電気機器などの輸出が大幅に減少しました。その結果、製造業の不振から派遣切りなどの雇用不安が広がり、失業率の上昇やデフレの深刻化といった深刻な景気後退を招きました。東日本大震災が発生したのは、リーマン・ショックから数年後の2011年です。
問2	答え 1 銀行などの金融機関が、預金者から預けられた資金を元手にして企業に貸し出しを行う。	間接金融の最大の特徴は、資金の出し手（預金者）と借り手（企業など）の間に、銀行などの金融機関が介在することです。金融機関は預金として広く集めた資金を、審査を行った上で必要とする企業へ貸し出します。一方、株式の発行や社債の購入によって資金をやり取りする仕組みは直接金融に分類されます。
問3	答え 2 発券銀行	日本銀行は、日本で唯一の「日本銀行券（紙幣）」を発行できる権利を持つため「発券銀行」と呼ばれます。これにより、世の中に出回る通貨の量を調整し、物価や経済の安定を図る役割を担っています。他の選択肢である「銀行の銀行」は民間銀行と取引を行う役割、「政府の銀行」は国庫金の管理などを行う役割を指します。
問4	答え 1 クレジットカード決済などは、銀行にある預金を通貨のように機能させて支払いを行っている。	通貨には、価値を測る「尺度」、支払いに使う「交換手段」、価値を保存する「貯蔵」の機能がある。銀行にある預金は、単に貯蓄されるだけでなく、キャッシュレス決済などを通じて口座振替で支払いに利用されるため、「預金通貨」として交換手段の役割も果たしている。
問5	答え 4 一般の銀行を対象として、資金の貸し出しや預金の受け入れを行う。	日本銀行は、私たち個人や一般の企業が直接口座を作って取引をすることはできません。日本銀行は民間の金融機関との間で資金をやり取りするため、「銀行の銀行」と呼ばれます。個人の預金に対する利息の支払いや一般企業への融資は、民間の普通銀行が行う業務です。また、価格操作の監視は公正取引委員会が担当しています。
問6	答え 3 日本銀行が一般の銀行から国債などを買い取り、世の中に出回る通貨量を増やす	景気が悪いとき、日本銀行は世の中にお金を流通させて経済を活性化させる必要があります。そこで、日本銀行が一般の銀行が持っている国債を買い、その代金を支払うことで、銀行が企業や個人に貸し出せるお金（通貨量）を増やす政策をとります。これを「買いオペレーション」と呼びます。選択肢にある「売却して通貨量を減らす」のは、景気が良すぎるに行われる「売りオペレーション」です。また、公共事業や増税は政府が行う「財政政策」であり、日本銀行が行う「金融政策」とは区別されます。
問7	答え 2 市場の通貨量が増えることで利子率が下がり、企業は資金を借りやすくなって設備投資を増やす	日本銀行が買いオペレーションを行い市場の通貨量が増えると、資金の供給が需要を上回るため、お金を借りる際のコストである「利子率」が低下します。利子率が下がれば、企業は低い利息で銀行から資金を借りて新しい工場を建てたり、機械を導入したりする（設備投資）といった経済活動を行いやすくなります。これにより、社会全体の経済活動が活発になり、不景気からの脱却が図られます。
問8	答え 3 間接金融	預金者と企業の間に銀行などの金融機関が介在し、資金を仲介する仕組みを指します。預金者は銀行に資金を預け、銀行がその資金を自らの責任で企業に貸し出します。これに対し、企業が株式や社債を発行し、投資家から直接資金を調達する仕組みは直接金融と呼ばれます。
問9	答え 2 政府の銀行	日本銀行は、国が扱う資金（国庫金）の管理や、国債（国の借金）に関する事務、さらには政府への資金の貸し出しといった業務を担っています。このように政府にとっての銀行として機能することを「政府の銀行」と呼びます。他の役割として、唯一紙幣を発行できる「発券銀行」や、民間銀行との間で資金の貸し出しや預金の受け入れを行う「銀行の銀行」があります。
問10	答え 4 民間銀行から国債を買い取り、市場の通貨量を増やす	景気が悪い時には、日本銀行が市場にお金を供給して経済活動を刺激する必要があります。日本銀行が民間銀行の保有する国債を買い取ることで、その代金が民間銀行に支払われ、結果として世の中に出回る通貨の量が増えることになります。これを買いオペレーション（公開市場操作）と呼びます。
問11	答え 4 銀行の利益を確保するため、貸出利子は預金利子よりも高く設定される。	銀行の主な利益の源泉は、預金と貸し出しの利子率の差にあります。資金の供給者（預金者）に支払う利子よりも、資金の需要者（借り手）から徴収する利子を高くすることで、銀行は組織を維持・運営するための利益を得ることができます。もし預金利子の方が高い場合、銀行は逆ざやと呼ばれる赤字状態に陥ってしまいます。
問12	答え 3 日本銀行が一般の銀行に国債を売り、市場の通貨量を減少させる	景気が過熱しているときは、物価の上昇（インフレーション）を抑える必要があります。日本銀行が保有する国債を一般の銀行に売却すると、その代金として銀行から資金が日本銀行へ回収されます。これにより、市場に出回る通貨の量が減り、消費や投資が抑制されて景気が安定へと向かいます。
問13	答え 3 日本銀行が市中銀行から有価証券を買い入れ、市場の通貨量を増やすことで、経済活動の活性化を図る。	デフレーション（デフレ）は、物価が下落し続けることで企業の利益が減り、不況を招く現象です。この際、日本銀行は景気を刺激するために、市中銀行から国債などの有価証券を買い入れる「買いオペレーション」を行います。日銀が代金を支払うことで世の中に出回る通貨量が増え、金利が低下します。これにより、企業や個人がお金を借りやすくなり、投資や消費が促進されて景気回復へとつながることが期待されます。